



埼玉県立深谷商業高等学校 育成方針 (生徒の成長物語)

至誠

士魂商才

質素剛健

伝統を生かした未来に輝く人づくり

深谷商業高等学校は、県立の商業高校としては最も古い創立100年を超える歴史と伝統を誇り、校章の白線一本は、「一商」県立第一商業高校を示します。約27,000名に及ぶ卒業生が、各界・各分野で活躍しています。

そして、社会に貢献できる豊かな人間性と、現代のビジネス界で活躍するために必要な最新の知識・技術の習得により、将来にわたって輝き続けることのできる人づくりに取り組んでいます。



深商記念館「二層楼」

1年生

自ら考えて行動し、基本的な生活習慣を確立して充実した高校生活を過ごす。

2年生

進路に対する意識を高め、より高度な資格の取得を目指す。

3年生

深商生としての自覚ある行動を通して、社会性・人間性・教養を養い、進路希望を実現する。

伝統に根付く豊かな人間性

社会で活躍するために必要な第一の道具は、自分で考え、問題を解決するための学力です。本校では、この確かな学力を身に付けるとともに、産業で即戦力として活躍するための高度資格の取得を目指します。

資格は、即戦力としての力を将来にわたって証明する人生のパスポートとなえます。本校では、簿記・コンピュータ・英語などたくさんの資格試験を実施し、各種1級の取得率は県内で断然トップの実績をあげています。高校時代に大卒レベルの高度な資格を取得し、各分野の専門家として人生を切り拓いていった先輩もたくさんいます。

進路希望100%

本校の資格取得や職業人としての豊かな人間性の育成の成果は、進路実績にも表れています。就職では、地元企業から求人が多く寄せられ、内定率100%を達成しています。

また、進学でも、高度資格取得は高く評価され、大学や専門学校の推薦入学などにこれを生かして、100%の入学を実現しています。

未来に生きる学力と資格

本校の校訓は、深谷市出身で近代日本の資本主義の父といわれた渋沢栄一翁が大正11年に来校された折に揮毫された「至誠」(何事にまごころをもって尽くすこと)「士魂商才」(常に道徳を根底とし、社会を豊かにすることのできる商業の才能を持つことが大切)の教えに基づいています。

本校では、この校訓を、変化の激しい現代にあっても、社会に貢献する人材の持つべき基本的な精神として受け継ぎ、現代のビジネス社会において活躍できる最新の知識・技術と、社会の発展に貢献できる豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を使命としています。